

作成年月日：2024 年 10 月 4 日

ご報告

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関へ提供し実施していますが、本来 2021 年 11 月に公開すべき下記の患者様への大切なご案内が、事務手続きの不手際で遅れてしまいましたこととお詫び申し上げます。本研究に参加され下記のご案内に該当する方で、ご意見やご不明な点などがございましたら、お早めに下記問い合わせまでご連絡ください。

なお、下記研究は千葉大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の実施許可を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って仮名加工処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前まで 2027 年 3 月までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

非転移性去勢抵抗性前立腺癌における予後予測因子と新規抗アンドロゲン剤治療効果の解明

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

千葉大学大学院医学研究院泌尿器科 准教授 坂本 信一

【研究分担施設・研究責任者】

久留米大学病院 泌尿器科 末金 茂高 他

【今回の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦 2014 年 5 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの間
- 2) 受診科：久留米大学病院 泌尿器科
- 3) 対象疾患名：非転移性去勢抵抗性前立腺癌の患者さん

【診療情報等の項目】

診療情報等：患者背景、治療経過、血液生化学検査（PSA、テストステロン、LDH、ALP 等）

授受の方法： ☐ 郵送・宅配 ☒ 電子的配信 ☐ 直接手渡し ☐ その他（ ）

【研究目的】

転移がないにも関わらずホルモン治療が効きにくい前立腺癌の方は比較的稀であり、そういった患者さんの中でどのような特徴を持つ方の病気が悪くなりやすいのか、どのような薬の使い方をすると高い治療効果が得られるかを解明します。

【研究（利用）期間】西暦 2021 年 11 月 1 日から西暦 2027 年 3 月 31 日まで

【問い合わせ先】

（本学）研究責任者：久留米大学病院 泌尿器科 末金 茂高

電話: 0942- 31-7572 （直通）（対応可能時間 平日 9:00~17:00）

臨床研究センター 電話: 0942-65-3749（直通）（対応可能時間 平日 9:00~16:00）